

令和7年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	58	学校名	飛騨高山高等学校（全日制）
------	----	-----	---------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	多様な学びの場がある県内最大規模の高校として、 地域資源を活かした探究的な学びとキャリア教育の充実を通して、 社会において自走し、幅広い分野で活躍できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「快活」「友愛」「創造」の校訓のもと、あらゆる機会を捉えて『自走できる生徒』を育成するとともに、価値観の多様性を認めて『互いを尊重できる生徒』を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、課題解決のため主体的に協働できる生徒 ・互いの人格を尊重し、主張や意見を交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・郷土を愛し、地域の発展のための課題解決を目指し、地域や社会に貢献できる生徒	
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・課題の発見、解決能力を伸長するための「主体的・対話的で深い学び」・「探究的な学び」の推進 ・I C Tを積極活用した教科指導・探究的な学びでの、コミュニケーション能力と情報発信力の育成 ・生徒の個性や長所を伸ばすためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	・向上心と多様性を尊重する姿勢をもち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲をもつ生徒 ・高い志をもち、その実現のために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・生徒会活動や部活動、地域活動などに自主的、主体的に参加し、より良い学校や社会を築いていく意欲のある生徒	
学校の抱える課題	(学習指導) 適切に学習評価を行い、それを元に主体的に学ぼうとする生徒を支援する体制。 (進路指導) 社会状況の変化に対応した多様なキャリアパスや多様な職業や価値観に触れる機会の不足と、幅広く深いキャリア研究に基づいた選択ができるような支援が十分とは言えないため、限定された選択肢の中での進路決定になっていること。 (生徒指導) 基本的生活習慣と規範意識に対する自己指導能力の育成と良好な人間関係を構築できる能力の育成を支援する体制。		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。 (2) ICT を効果的に活用した授業を一層推進し、探究的な学びの充実を図る。 (3) 適切な学習評価を行い、それを元に学習計画を自ら立案して実践できる力を育成する。	
	進路指導	(1) 様々な場面や教育活動をとおして、未来を見据えたキャリア教育を推進する。 (2) 将来の在り方について主体的に考えられるようキャリア・パスポートを有効活用する。 (3) 産業界や関係機関等と緊密に連携し、講話や体験活動等の充実を図る。	
	生徒指導	●生活支援係 ① 自他の命を尊重させる。②基本的習慣と規範意識の向上 ③多様な価値観を認め合う土壌づくり ④分掌横断的、キャンパス横断的、課程横断的な視点をもって業務を進める。 ●相談係 ① 生徒の状況を正確に把握し、より深く理解できるような教育相談体制を整える。 ② 生徒一人一人を正しく深く理解するために、信頼と愛情に基づく共感的理解に徹し、すべての職員があらゆる機会をとらえ、積極的な生徒支援に努める。 ③ 生徒の人権を尊重し、個人情報の秘密保持に留意する。	
	特別活動	①生徒会活動や学校行事等を通して、生徒の自主的な活動を支援する。 ②HR活動を通して、コミュニケーション能力や協調性、思いやりのある生徒を育成する。 ③部活動やボランティア活動等の課外活動を充実させ、豊かな人間性の育成や健康・体力の増進に努める。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	生徒が主体的・対話的に取り組み、深く考えるような授業展開をめざす。	施策Ⅰ-1	学校評価アンケートと授業 評価アンケートの結果を併 せた状況で判断する。				
	総合的な探究の時間及び課題研究においてICTを活用し、生徒の表現力が高まるような指導を実践する。	施策Ⅱ-8					
	適切な学習評価を元に、修正しながら自ら学びを深められるような助言や提案を行う。	施策Ⅳ-23					
進路指導	MY TIME の企画・運営を実行し、生徒が主体的に朝の10分間を有効活用できるよう促す。	施策Ⅱ-8	学校評価アンケート結果と キャリアパスポートの記入 状況。進路ガイダンスの満 足度調査。 キャリアパスポートによる MY TIMEの計画と振り返り。				
	キャリアパスポートやclassiを積極的に活用し、ホームルーム活動やインターンシップ等を通じて、望ましい職業観の育成を図り、キャリア教育を推進する。	施策Ⅱ-13					
	進路ガイダンスやオリエンテーションを積極的に活用し、進路意識の高揚を促し、進路選択の幅を広げる。	施策Ⅱ-11					
	Handy進路指導室による求人票閲覧のオンライン化と利便性を高める。	施策Ⅱ-9					
生徒指導	「本音で語り合う今の自分と未来会議（旧教育相談週間）」やいじめアンケートで状況を正確に把握、共有し、個別支援できる体制を整える。	施策Ⅰ-3	学校評価アンケート結果で 判断する。				
	身だしなみ確認の声かけや、朝の挨拶運動、マイタイムでの関わりの中で、規範意識向上と信頼関係の構築を図る。	施策Ⅰ-2					
	傾聴を大切にし、並走、伴走の立ち位置で、一緒に考えるスタンスを大切にする。	施策Ⅳ-23					
特別活動	統一生徒議会の中身が充実するよう、議会に提案される議題をあらかじめクラスで検討し、議会に臨む。統一生徒議会後に議決内容をクラスへ共有する。	施策Ⅰ-1	学校行事の事後アンケート 結果で判断する。				
	合同球技大会実現（令和8年度）に向けて、合同学年球技大会を今年度実施する。	施策Ⅲ-16					
	部活動顧問数の適正な配置やサポート部の運用、時間割への配慮等を通じて、職員の負担軽減を目指す。	施策Ⅳ-27					